

揖斐高PTAだより

平成23年2月28日

第90号

岐阜県立揖斐高等学校PTA

<http://school.gifu-net.ed.jp/ibi-hs/>



学習成果発表会



体育祭の様子

この一年に感謝しながら



PTA会員の皆様には、日頃PTA活動に対し、多大な尽力を賜りまして誠にありがとうございます。

お蔭様で、22年度も無事終了としております。月に一度のあいさつ運動に始まり、いくつかの行事がありました。

体育祭・文化祭・揖斐高フォーラムなど、どの行事におきましても、生徒さんたちの、さわやかで高校生らしい笑顔やことばのやりとりを身近で感じることができ、折にふれ、うれしく思いました。これも一重に、父兄の方々の子供さんへの深い愛情の賜物と感謝しております。

PTA会長 瀬瀬直美

けれども、少し外へ目を向けてみますと、昨今、いろいろな家庭の事情や大人の都合により、子供たちが窮地に追い込まれ、辛い境遇でもがき続ける姿が、新聞等で取り上げられています。

不況や社会情勢の不安定さなどから、大人も余裕をなくし大人自身模索する日々の中、安らかな気持ちで子供と接するのはなかなか困難な事ではありますが、一人の子を真っすぐな人間に育てるのも、又、間違っただ人格を植え付けていってしまうのも、大人次第だと思います。私たちには、子供らを健全に育てて次の時代へ送っていく責任があります。まずは、自分の子だけではなくまわりにも目をやって、広い気持ちで、子育て、自分育てを楽しんでいきましょう。

重ねて、この一年、ありがとうございました。

これからの時代に生きる力を

教頭 坂井 和裕



今年度のPTA活動も、すべて無事終了することができました。特に校門挨拶運動では、悪天候の日が多かったにも関わらず、昨年を超えるのべ70名以上のご協力をいただきましたこと、あらためて感謝申し上げます。

この1年間、政治は混迷、経済は停滞と落ち着かず、高校生の就職内定状況も好転したとはいえ、将来への不安は依然として払拭できません。しかしながら、本校は今年も地元企業の皆様から求人をいただき、昨年より就職内定率は上昇しました。また、進学では数年ぶりに国立大学(滋賀大学)の合格者がでるなど、3年生は進路実現によく努力してくれたと思います。1・2年生もぜひ続いて頑張してほしいと思います。

12月に朝日新聞社が行った全国世論調査によると、「子どもの将来を明るくするには」という質問に対し、「経済など社会の仕組み全体の改善」「家庭や家族がしっかりすること」と回答した人が、合計で86%を占めていたということです。子どもの未来はすでに学校だけで切り開くものではなく、社会や家庭全体に関わるものという感覚が浸透した現在、社会・家庭・学校が一丸となって、これからの教育に取り組む必要があるとあらためて思います。今後とも本校へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

PTA活動を振り返って

副会長 近藤 欣哉



PTAの役員に指名されて、一年が経とうとしています。一年間でいろいろな行事がありました。文化祭のカレーづくりの話し合いなど、役員が熱心にとりくんでいました。当日も好評のうちに「完売」でよかったです。

みなさんが時間と労力ををできるだけかけながら、学校と子どもたちをサポートしていく気持ちを共有できたと思います。「高校生ともなれば、やはり教えてあげれば教え甲斐があるものだ」といった実感と「親としてのつとめもこれで結構果たせるものだ」という感想を持っています。これまでの活動、ご協力ありがとうございました。

会計監事 近岡 仁美

私の母校でもある揖斐高校に子供が入学し、それと同時にPTA役員をやらせて頂く事になり三年が過ぎようとしています。お陰様で私自身とても有意義な三年間を過ごすことが出来ました。文化祭のカレー作りや体育祭等の学校行事にも多数参加し、子供の高校生活の様子を見ることも出来ました。

又昨年度、揖斐高校創立90周年の年に記念式典にも参加出来た事は大変嬉しい事でもありました。

各地区のPTA連合会では貴重な講演や発表を聴き、とても良い勉強にもなりました。

三年間本部役員を無事終える事が出来たのも、皆様方に支えられたおかげです。本当に有難うございました。

幹事 栗田 秀美

一年前PTA役員にお誘い頂き、何もしてこなかった二年間を反省し、最後の一年は微力ながら私のできる事を精一杯努めさせて頂こうと使命感を持って役員を受けることにしました。

でも私がしてきた事と云ったら、学校行事に参加させて頂き子供達からたくさん笑顔と元気をもらった事。頼もしい顧問会長初め、初対面ながらすっかり打ち解けて楽しい時を過ごし、特典ばかりの一年だったと思います。

我が子の卒業で残念ながら私の任期は一年で終了してしましますが、これからは揖斐高校とPTAが益々繁栄されます様祈っていきたいと思います。

会計 平田 美智

二人の子供がお世話になった揖斐高校、静かな環境で四季折々の景色に感動しました。

生徒さん達の気持ちのよい、あいさつを聞き、友達とふざけ合う姿もほほえましく、一生懸命取り組む姿は、とても輝いていました。又、私自身、PTA連合会の地区大会や講演会に出席させて頂き、たいへん勉強になりました。

PTAの皆様、足りない所もたくさんあったと思いますが、色々、助けて下さりありがとうございました。とても貴重な体験が出来、楽しかった3年間でした。

学年長 松田加代子

子供が、高校生になって1年の時から役員をさせて頂き何もかもが初めてでとまどう事も多くありましたが、楽しみながら色々な行事に参加する事が出来ました。文化祭・体育祭・揖斐高フォーラムなどにも参加し、学校との関わりが大変身近に感じられることができました。また様々な行事に参加する事で子供達の姿を直接見る事ができたのも貴重な体験の一つです。

私にとってのこの3年間はあっという間で色々教えて頂いた有意義な3年間でもありました。最後に3年間の本部役員を無事終える事が出来たのもPTAの皆様方のおかげだと思って感謝しています。本当にありがとうございました。

PTA活動報告

体育祭支援活動(9月29日)

体育祭支援活動では、冷たいスポーツドリンクを配布しました。多くの役員の方や、ご父兄の方々にご参加をいただきました。子供達の一つ一つの競技では、各担当責任者の子のテキパキとした行動に感心しました。大縄とびでは、クラス一丸となり、一生懸命さに感心しました。応援もそれぞれに持ち味を十分に出し切っていて良かったです。最後に団別リレーでは、精一杯声を出して応援しました。ご父兄の間でも、大変盛り上がる事ができて感動しました。一人一人最後まで、やり抜いたという気持ちがよく伝わってきました。ありがとうございました。来年度もみなさまのご参加をお待ちしております。

文化祭支援活動(10月1日)

「PTAのカレーライス」。今年は大盛況のうちに、無事終える事が出来ました。

役員のみならず、ボランティアの方々の協力も有り、手際よく準備も進み、愛情いっぱいの「おふくろの味」カレーライスが出来ました。子供達の評判も良く、想定していた数以上のカレーを食べてもらえました。これが一番嬉しい事です。

文化祭に親として参加させてもらい、子供達に喜んでもらい、誰もが楽しむ事が出来た事。楽しい思い出として残ってくれると思います。ありがとうございました。



参加して下さった方々と、食べてくれた子供達に感謝しております。次回に繋がる様、皆さんの参加をお待ちしています。

挨拶運動

毎月、第三水曜日を『あいさつ運動』として活動してまいりました。おかげさまで、年々子供達のあいさつが元気にかえてくる様になりました。今年度は、昨年度よりも本当に、多くの方々が、平日にもかかわらず参加して下さいまして、この場でお礼申しあげます。本当にありがとうございました。又、近郊の方からも、『朝から、元気がもらえるわ』と、おっしゃってくださり私も少し誇らしげな気持ちでし



た。来年もこの活動を続けていきたいと思っていますので、一人でも多く保護者の方々に参加していただき、子供たちから元気を届けていただけたらと思っています。

揖斐高フォーラム(11月9日)

今年度は、保護者、生徒、職員に加え、学校評議員の方々にも参加して頂き開催することができました。



全校生徒に行った情報モラルに関するアンケート調査から、本校の生徒も全国と同様に約7割の生徒が携帯電話を毎日使い、その7割(全体の5割)の生徒が1時間以上使用していることが分かりました。このことは、最近問題になっている「ケータイ依存」ということが、本校においても危惧されることです。フォーラムでは、この点について生徒達や保護者の生徒像を通して、現状認識や対処方法について意見交換がされました。参加した生徒達は、自らまたは家族で携帯電話の使用制限を設けて、上手に利用していました。

このように、各家庭でも携帯電話利用の約束事を決め、そのことを通して、マナーやコミュニケーション力な



どの育成を促していくことが大切であると確認されました。是非、各家庭で話し合ってください。

後期PTA役員活動

10月1日(金)『揖斐高PTAだより』第89号発行
文化祭支援活動

20日(水)校門あいさつ運動⑤

11月5日(金)県PTフォーラム(岐阜市:未来会館)

9日(火)揖斐高フォーラム

24日(水)校門あいさつ運動⑥

12月15日(水)校門あいさつ運動⑦

17日(金)本部役員会

2011年

1月26日(水)校門あいさつ運動⑧

27日(木)第1回指名委員会

2月23日(水)校門あいさつ運動⑨

28日(月)『揖斐高PTAだより』第90号発行

3月18日(金)第2回指名委員会

25日(金)本部役員会

今年度の進路状況について

進路指導部

1 平成22年度 進路状況

(1) 進学

1年次から高い目標を掲げ、反復勉強を重ね、AO入試や一般入試に挑戦する者が増えてきました。

今年、国立大学（滋賀大学）の合格者がでたこともその成果の表れだと思います。

自分の夢を叶えるため、家庭学習を習慣化し、授業を大切にしながら、全体的な学力向上に繋がるように、互いに励まし、刺激しあいながらレベルアップして行ってほしいと思います。

(平成23年2月16日現在)

4年生大学	短期大学	専門学校等	未定
19名	19名	41名	6名

(2) 就職

ここ数年は全国的に求人減ですが、本校は「揖斐高の生徒なら」と求人が増え、合格率も上がっています。しかし、2次募集は全国的に皆無に等しい状況ですので、9月求人において一発合格を目指すさねば内定への道は険しいと思われます。

(平成23年2月16日現在)

事務	販売	サービス	技能	その他
4名	1名	15名	21名	8名

2 進路実現体験セミナー

2月16日（水）2年生が4会場に分かれて進路実現への体験セミナーを開催しました。

3年生が、後輩に向けて体験談を話し、

①今、何をすべきなのか。やっておくべきことは何か。

②進路決定に向かう姿勢。前向きな取り組み。

③“時間”や“当たり前”の大切さ。日々精進すること。

などの三年間の想いを伝え、交流する中で、2年生にとっては自己を見つめる良い機会となり、活力を得ることができました。



3 平成23年度に向けて

来年度は、基礎学力固めから応用の活用力の定着へと、更なる学力向上を指導の重点としたいと思います。

自ら学ぶ姿を大切にし、学習習慣が自信へと繋がり、進路実現へと導かれるよう、最後まで諦めない目標達成への向上心や、社会性の育成にも心掛け、今後も、厳しくも個々に応じた指導を継続していきたいと思います。

学年だより

3 学年

贈る言葉

卒業生の保護者の皆様、お子様のご卒業、おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。3年間のご協力に対し、感謝申し上げます。立派に成長されましたお子様の頼もしい晴れ姿をご覧になり、お喜びもひとしおのことと思います。今後、お子様は、岐阜県立揖斐高等学校の同窓会の一員として益々活躍していただくことと期待しております。

特に今年は、日本は未曾有の経済危機といわれる状況にあり、企業からの求人数も大変少なく、非常に厳しい環境に身を投じることになり、「辛抱」や「忍耐」という経験を余儀なく強いられることになるでしょう。しかしながら、お子様が夢を持って、その夢までいかにして到達するのかを強く心に思い描けば、必ず道は開けると確信しています。努力も、忍耐も、結果としては「素晴らしい経験」となって、お子様の中に蓄積されていくことでしょう。

こんな時代だからこそ、どうか皆さん、恐れず、ひるまず、前向きにチャレンジしてください。どんな経験も必ずお子様を育ててくれます。

最後になりましたが、保護者の皆様におかれましては、3年間のさまざまな教育活動に対してご理解、ご協力いただきましたことに感謝して、皆様のご多幸をお祈りいたします。

〈卒業生の皆さんに贈る言葉〉

これから先、あなたは今まで以上にいろんなことを経験するでしょう。辛い日、悲しい日、思わぬことで胸を痛めることもあるでしょう。それでも、夢を持ち、輝いていてください。



揖斐高ショップ

2 学年

中核学年としての自覚

昨年に引き続き、「自立・創造・敬愛」を学年目標に1年間歩んできました。2年学年団として精一杯、学校や学年の諸行事に積極的に取り組むことができました。今年度の大きな行事である「北九州への修学旅行」でも集団行動や様々な体験を通してクラスや学年の輪を深め、高校生活後半に向けて意気を高めることができましたと思います。その他、文化祭や体育祭での積極的な取り組みも充分満足できるものであったと確信しています。

<修学旅行の行程>

- 1 日目・・・中部国際空港～福岡空港（飛行機搭乗）、吉野ヶ里遺跡見学、平和講話
- 2 日目・・・長崎市内班別研修
- 3 日目・・・ペーロン体験、ハウステンボス班別研修
- 4 日目・・・太宰府天満宮参拝、博多駅～羽島駅（新幹線）



<文化祭でのクラスの取り組み>

- 1 組：モザイクアート
- 2 組：バルーンアート
- 3 組：Let's Dancing
- 4 組：Photo Studio

高校2年生は「中だるみの学年」と言われ、入学時の緊張もゆるみ、卒業後の生活に関する緊迫感にも遠く、目標を見失う生徒が多いと思われていますが、学習面での取り組みは1年次より良好に、また、生活面では昨年同様、欠席・遅刻等も少なく良い状況が維持できたことを大変嬉しく思っています。この調子で、今後、進路実現に向けて更に自己分析や自己努力を重ね、厳しさが予想される就職戦線や進学先の決定に立ち向かってくれることを期待したいと思っています。今後も、保護者の皆様には変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。



文化祭

1 学年

ONE FOR ALL, ALL FOR ONE

今年度の第一学年のめざす姿を、“One for all, All for one”（1人はみんなのために、みんなは1人のために）にしました。これは、とても有名な言葉です。この言葉には、単に「集団」への寄与の精神を求めるだけではなく、「集団」を大切にできる「個人」の成長を促す意味をも含まれています。将来の生徒達の自己実現を考えれば、この「個人」の自立と自律が必要不可欠であると考えています。その点を見つめながら今年度の指導をスタートさせました。

まずは「個人」の自律です。入学以来ずっと最優先にして「基本的生活態度」の確立を目指して指導をしてきました。自分で出来る事を増やしながら、出来る事と出来ない事、やっていい事と悪い事、やるべき事とそうでない事を判断しそれを実行する力をぜひ身につけさせたいと思います。とりわけ、朝読書の充実、高校生らしい服装や頭髪への改善、不注意や怠惰による遅刻・欠席の皆無、授業規律の徹底、宅習時間の拡大、環境美化意識の涵養には、今も厳しく指導をしています。

また同時に「個人」の自立を目指します。これは、社会性とも言えます。高等学校は、様々な地区の中学校から生徒が集まってきます。したがって往々にして生徒達は「自己流」を主張しがちです。そこで、ホームルーム活動を基本としながら、集団の中で自分の役割やとるべき態度を自覚し、仲間とともに育ち合う力をもぜひ身につけさせたいと思います。文化祭・体育祭・社会見学等の学校行事の折だけでなく、各種委員会・家庭クラブ・各授業・部活動等のあらゆる教育活動において「協調性」の涵養と「コミュニケーション能力」の育成に今も努めています。

当然のこととして、今年度の指導だけでは十分とは言えません。来年も、再来年も指導を継続して行っていきたいと思います。今後も生徒達の将来の自己実現が叶うように、1年学年会は生徒達の自律・自立に向けて全力でサポートしてゆくつもりです。

最後になりましたが、保護者の皆様におかれましては、この1年間のさまざまな教育活動に対してご理解、ご支援を賜りありがとうございました。今後も同様のご理解とご支援を賜ることを切にお願い申し上げます。

生徒の活動



MSリーダーズ1日警察官



いびがわマラソンボランティア



家庭クラブ活動（座布団製作）

＜部活の活躍＞



フェンシング部

- JOC ジュニア・カデ オリンピックカップ
女子個人フルーレ 世界第20位 川村理紗
- 第65回国民体育大会（千葉国体）
少年男子の部 団体 優勝 岡安瞭治
少年女子の部 団体 第5位 川村理紗
- 東海高等学校総合体育大会（愛知）
女子個人 フルーレ 第1位 川村理紗
男子団体 3位



- ### ソフトテニス部
- 「西濃総体優勝」
県大会出場

- インターハイ県予選
男子団体 優勝
女子個人 フルーレ 第1位 川村理紗



- ### 野球部
- 春季県高校野球西濃地区3位
県大会出場

高校生活を振り返って

普通科

3年1組 吉川 昌克

普通科では教養科目を中心に、三年間学習を続けてきました。他のクラスと違って、専門的な科目を学ぶ機会がないので、他のクラス以上に卒業後の進路を考える必要がありました。早いうちに就職するのか、進学するのかを決めるだけでも、その後の学習における目標や目的が定まってくるからです。

私たちは、学習だけでなく、体育祭や文化祭などの行事にも、力を入れて取り組みました。全員で団結しつくりあげた文化祭のステージ発表は、とても心に残っています。

卒業後も、先生方の教えを活かし、目標に向かって頑張ります。

普通科(情報コース)

3年2組 森 裕太

普通科情報コースでは簿記やパソコン、ワープロなどの資格が取得でき、専門的な教科を深く学ぶことができました。年に2回行われる「揖斐高ショップ」では売買の難しさを知ることができ、地域の方々ともふれ合う良い機会になりました。また、この「揖斐高ショップ」から多くのものを学ぶことができました。

生徒会活動では書記として“生徒の代表である”ということを常に意識して活動し自分の役割を果たすことができました。この3年間で得たものはとても数えきれません。本校を卒業しても学んだ事を生かし一生懸命頑張りたいと思います。

生活環境科

3年3組 安江野乃花

私は福祉コースで、高齢者、障がい者、児童などの福祉全般について学びました。特に訪問介護員養成研修では介護技術をはじめ、医学や福祉制度などさまざまなことについて学ぶことができました。初めて聞く言葉や難しい言葉が多く、1つ1つを理解するのにとても苦労しました。100時間の講義と30時間の実習を挫折することなく受講できたことは、私の大きな自信となりました。私は医療系の専門学校へ進学します。福祉コースで学んだ知識、技術を生かして、夢に向かって努力を続けたいと思います。

